



# 静岡産業大学

〒426-8668 静岡県藤枝市駿河台4-1-1 TEL054-645-0191(代)

## 「県民の大学」「大化け教育」で 経営改革と地域貢献を実現



「県民大学」と「大化け教育」で地域産業に貢献し、地域社会で活躍できる人材の育成を目指す静岡産業大学。

地元愛を育みながら、静岡の地で産・官と連携し「情報と人材の地産地消」を目指し、地域の発展に寄与できるよう、さらなる教育力向上や教育内容の進化に取り組んでいきます。

### 『体験型学習』で力試し



授業の枠を飛び越えた学びの場として、「スポーツ」「デザイン」「ビジネス」の各分野におけるアカデミーを開講しています。「県民大学」と「大化け教育」で地域産業に貢献し、地域社会で活躍できる人材の育成を目指す静岡産業大学。

地元愛を育みながら、静岡の地で産・官と連携し「情報と人材の地産地消」を目指し、地域の発展に寄与できるよう、さらなる教育力向上や教育内容の進化に取り組んでいきます。

### 充実した『就職支援』



昨年度卒業生の就職率は約93%。これは一年生から就職を意識させるため正課の授業をおこなっており、就職意欲を高めているためです。

学生個々に合わせたフォロー体制も整っており、社会人基礎力の育成を中心とし、求人情報の提供、学内企業ガイダンス、個別相談等で指導・支援をおこなっています。

また、卒業生に対しても求人情報の提供をしており、希望者は企業研究と同時並行で就職活動を行う「産業研究所」に入所し、就職支援を受けられます。また、研究所は他大学の卒業生も多数所属しています。

### 『心理経営学科』誕生



2012年4月経営学部「心理経営学科」が誕生します。これは従来の心理学の考えを一新し新設しました。

新学科には心理学の知識をビジネスに応用し実践するビジネス心理コースと、スポーツ選手の心を鍛えてベストパフォーマンスのサポートをするスポーツ心理コースの2コースを置き「近未来の社会」で活躍できる人材の育成を目指します。心理学系の学問は教育学部や文学部で扱う大学が多い中で、経営学部を設置するのは全国的にも珍しいことです。

新学科の特徴として、社会の急激な変化に対応できるよう、単なる知識で終わらせることなく「使える心理学」を応用的、実践的に学んでいきます。

## 地域交流



## キッズスクール

毎週土曜日、学生たちが先生になって、地域の子どもたちを対象に、スポーツ教室(キッズスクール)を開講しています。学生たちが、サッカー、バレーボール、体操、テニス、バスケットボールなどを、子どもたちと実際にふれあいながら、スポーツの楽しさ、身体を動かすことの楽しさを伝えています。スポーツ指導者を目指す学生たちにとっては、実践的な「教え方」を体験できる絶好の場となっています。また、大学が所有する充実した設備を使ってのスポーツ体験は、子どもたちにとっても、幼い頃から本物にふれることができる貴重な体験となっています。

その他に、地域の方対象の健康教室、地域のデザインコンテンツ作成、一般の方も参加できる各種公開講座、シンポジウムを開催し地域との交流を大切にしています。

## 産学官連携



## 冠講座で各業界の“今”を学ぶ

“静岡県に必要な人材を、大学と地域社会が一緒になって育てよう”という基本精神から生まれた本講座は、静岡県に関係の深い産業界や行政機関、各種団体からの寄付により運営されています。

講座に寄付していただくのは、金銭ではなくパッション。地域愛や社会的貢献意識、教育にかける情熱といった、ご賛同くださる方々のパッションにより運営され、質、量ともに全国に誇る名物講座となっています。

授業はシラバス(学習計画)に従って、全15回の正規講座として実施され、学生は2単位を取得できます。

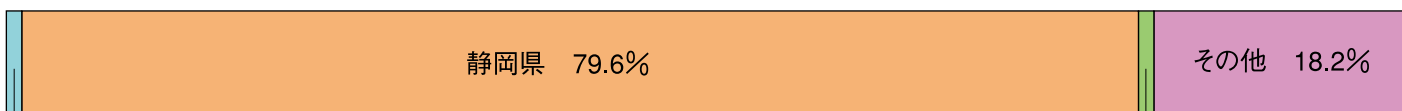
講義、ディスカッションおよび現場見学などを通じて、各業界の最先端を学ぶことができます。

また、地域の一般社会人の方にも無料で公開されています。

## 学部別学生数構成比



## 出身県別学生数構成比



愛知県 1.1%

長野県 1.1%

- 住所 〒426-8668 静岡県藤枝市駿河台4-1-1
- TEL/FAX 054-645-0191(代) / 054-645-0195
- URL <http://www.ssu.ac.jp>
- E-mail [koho@ssu.ac.jp](mailto:koho@ssu.ac.jp)

- 住所 〒483-0043 静岡県磐田市大原1572-1
- TEL/FAX 0538-37-0191(代) / 0538-36-8800
- URL <http://www.ssu.ac.jp>
- E-mail [koho@ssu.ac.jp](mailto:koho@ssu.ac.jp)





# 静岡 大学

〒422-8529 静岡県静岡市駿河区大谷836 TEL054-237-1111(代)

## 「自由啓発・未来創成」のビジョンのもと 教育研究を推進、また社会と連携することで、高い人間力を養成。



### ○学部

- 人文学部
- 教育学部
- 情報学部
- 理学部
- 工学部
- 農学部

### ○大学院

- 人文社会科学研究科
- 教育学研究科
- 情報学研究科
- 理学研究科
- 工学研究科
- 農学研究科
- 創造科学技術大学院
- 法務研究科

### ○研究所

- 電子工学研究所

卒業生の学力の質を保証する、質の高い教育を実施します。

### ◆授業パッケージ方式による就業力の育成

学生が卒業後の職業生活を具体的にイメージし、そのために必要な資質能力を大学教育の中で身につけることを可能とするため、汎用的資質能力、専門的資質能力、実務的資質能力のそれぞれの要素を含む授業パッケージを提供し、それを核とした就業力育成を目指しています。

地域に根ざしたプロジェクト型研究(光・電子情報、生命・環境)を推進し、国際展開を図ります。

- ◆アジア研究
- ◆極限画像科学
- ◆ナノバイオ科学
- ◆グリーン科学技術  
(環境・エネルギー科学技術)

“大学の知”の一層の活用のため、地域が抱えている諸問題の解決や文化面における貢献を図ることとし、地方公共団体を始めとする産学官等との連携を取りつつ、社会連携活動を積極的に推進します。

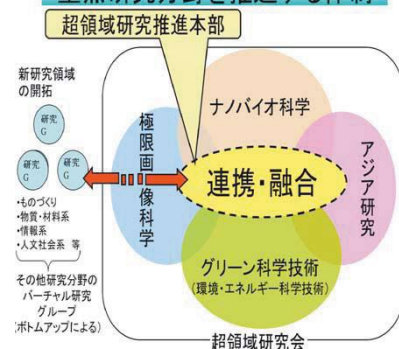
- ◆イノベーション共同研究センター
  - ・大学のシーズ、地域企業等のニーズ発掘及びコーディネート
  - ・大学発ベンチャー企業の創出・育成と経営支援 他

- ◆知的財産本部
  - ・知的財産戦略の企画、立案、管理
  - ・産学官連携に関するアウトリーチ活動 他

- ◆生涯学習教育研究センター
  - ・生涯学習における教育及び調査研究
  - ・地域の生涯学習関連機関との連携及び協力 他

- ◆地域連携協働センター
  - ・地域連携及び協働の推進、学内外への情報発信
  - ・センター及び部局等との連携協働 他

### 重点研究分野を推進する体制



# 地域交流



本学では、地域連携協働センターをはじめ様々な組織・団体等が静岡県下で多様な地域連携・交流を展開しており、以下に遠州地域での代表的な取組みを紹介します。

### 【アメニティ佐鳴湖プロジェクト】

水質汚濁のひどい(平成13~18年度全国ワースト)浜松市の湖沼「佐鳴湖」の浄化を目指して、水質検査、汚濁メカニズム究明、浄化技術、浄化対策効果予測等に行政や地域住民と一緒に取組み、水質改善成果が現れています。(写真上:水質調査)

### 【地域ネットワーク・浜松RAIN房による理科理解増進】

ものづくりや科学技術に関わる遠州地域の80余の機関や団体、5自治体をネットワーク化して、市民が相互に学び・教えることのできる学習・体験の場を提供し、理科理解増進につながる多様な行事を実施・支援しています。(写真下:科学講座)

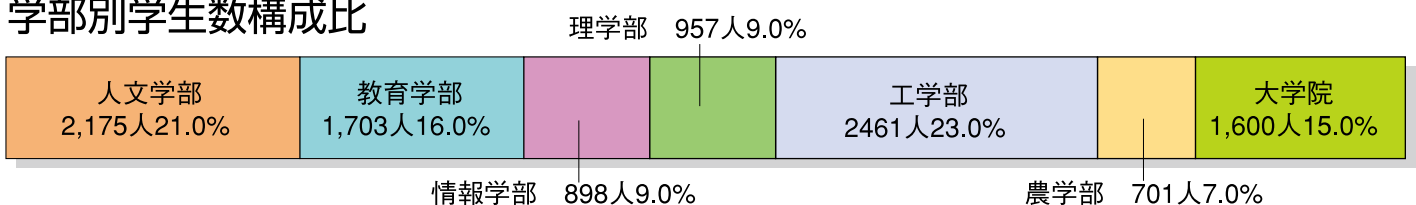
# 産学官連携



イノベーション共同研究センターと知的財産本部が産学連携活動を展開しています。技術相談、共同研究等により製品化、事業化を促進し本学の研究成果による技術移転を通して社会貢献を推進しています(写真上:製品化された血中酸素濃度計)。

また、学学連携を基礎とする東海iNETを豊橋技科大とともに組織し、静岡県から愛知県東部に亘る産学連携活動を支援しています(大学等17機関の参加)。さらに地域中核産学官連携拠点(浜松・東三河光電子技術イノベーション創出拠点)、地域イノベーション戦略推進地域(浜松・東三河ライフフォトニクスイノベーション)など、地域連携事業の中核機関としてコーディネータ人材の育成、オープンイノベーションの推進(浜松アリーナ)、ニーズ・シーズマッチング会等の事業を推進しています(写真下:技術説明会)。

## 学部別学生数構成比

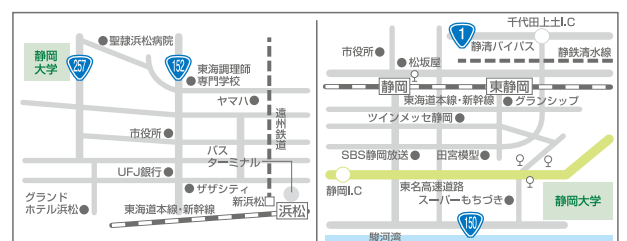


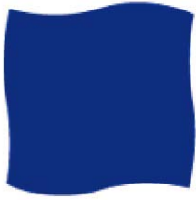
## 出身県別学生数構成比



- 住所 〒432-8561 静岡県浜松市中区城北3-5-1  
静岡大学イノベーション社会連携推進機構  
(平成24年度より)
- TEL/FAX 053-478-1704 / 053-478-1711
- URL <http://www.cjr.shizuoka.ac.jp>
- E-mail [ijrc-sena@cjr.shizuoka.ac.jp](mailto:ijrc-sena@cjr.shizuoka.ac.jp)

- 住所 〒422-8529  
静岡県静岡市駿河区大谷836  
静岡大学
- TEL/FAX 054-237-1111(代)
- URL <http://www.shizuoka.ac.jp>





# 公立大学法人 静岡文化芸術大学

〒430-8533 静岡県浜松市中区中央2-1-1 TEL053-457-6111

## 「実務型の人材を養成する大学」 「社会に貢献する大学」



文化政策学部とデザイン学部を擁する本学は、平成12年に静岡県と浜松市、地元産業界が協力して開学し、平成22年には私立大学から静岡県設立の公立大学へと生まれ変わりました。

これまでの10年間の独自性と柔軟性に富む大学運営の実績を基に、教育・研究の充実を更に進めています。

### 大学の設置目的

文化力、デザイン力を備えた人こそ、21世紀の豊かさを創造するフロンティアたりうとの理念を追求し、両学部が連携、融合する中で、創造性と実践力豊かな人材を育成しています。

### 養成する人材像

文化や芸術を学び、文化の振興や産業の発展などの担い手となるような実務型の人材を養成しています。

また、導入教育等により、大学生としてのスキルを身につけ、さらには社会人として必要な基礎力を養成します。

### 研究の目標

「多文化共生を含む文化政策」、「アートマネジメント」、「ユニバーサルデザイン」の3つの重点目標研究領域を定め、社会に貢献する大学を目指しています。

導入教育(狂言体験等)



工房(人体機能実験室)



## 地域交流



「開かれた大学」を目指し、教員の専門知識、技能やネットワーク、特色ある大学施設を活用した様々な地域交流事業を実施しています。

### <薪能>

能楽師である教員の指導のもと、学生たちが企画、広報、運営まですべてに携わる「薪能」を公演。平成13年から毎年開催し、地域に親しまれるイベントに成長しました。

### <室内楽演奏会>

学生の教育として、また、地域の文化資源を生かした催事として、室内楽演奏会を定期的に開催し、地域の文化振興に貢献しています。

### <公開講座・公開工房、セミナー>

地域の生涯学習へのニーズに対応するため、市民を対象とした公開講座や、ものづくり体験ができる公開工房を開催し、毎年多くの方にご参加いただいています。

### <図書館の開放>

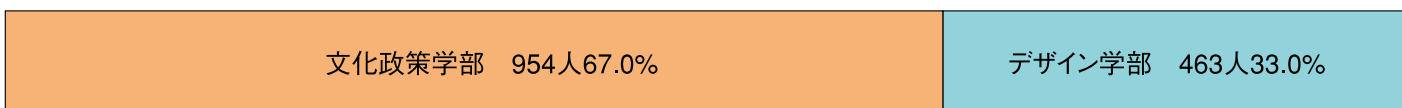
地域の教育文化の向上に資するため、成人を対象に図書館施設を開放し、図書等の閲覧や貸出を行うなど、生涯学習活動を支援しています。

## 産学官連携

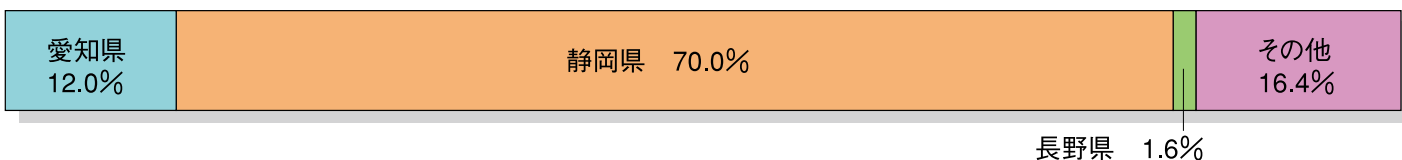
大学の持つポテンシャルを社会に役立てるため、地域の企業や自治体との共同研究や受託研究を行っています。

また、行政の各種審議会等の委員にも多数の教員が就任し、政策提言等により地域社会の発展に貢献しています。

## 学部別学生数構成比



## 出身県別学生数構成比



- 住所 〒430-8533 静岡県浜松市中区中央2-11
- TEL/FAX 053-457-6111 / 053-457-6123
- URL <http://www.suac.ac.jp>
- E-mail [kikaku@suac.ac.jp](mailto:kikaku@suac.ac.jp)

アクセス JR浜松駅から徒歩15分  
遠州鉄道「遠州病院駅」から徒歩8分





# 静岡理工科大学

SIST

〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2 TEL0538-45-0111(代)

## 豊かな人間性を基に、「やらまいか精神と創造性」で 地域社会に貢献する技術者を育成する。



静岡理工科大学は静岡県袋井市にある理工学部と総合情報学部及び理工学研究科(修士課程)をもつ理工系の大学です。平成20年4月に総合情報学部を設置したことにより、2学部(理工学部／総合情報学部)5学科(機械工学科・電気電子工学科・物質生命科学科／コンピュータシステム学科・人間情報デザイン学科)2専攻(システム工学専攻・材料科学専攻)の大学になりました。大学の定員は1学年360人。小規模大学の強みを生かし、一人ひとりを丁寧にて育てる教育を行っています。

開学20周年を契機に、  
将来に向けて大きく  
躍進していきます



20th Anniversary 2011

## 地域と共に輝く未来

静岡理工科大学は、平成23年度に開学20周年を迎えました。これを契機に、これまでに培ってきたことを顧みて、改めて本学としての明確な価値基準を確立し、将来に向けて大きく躍進していきます。大学の教育、研究機関としての役割を本格的に果たし、大学の総合力(ブランド力)を高めるために、①学生が主役となる大学、②地域において存在感のある大学、③環境に配慮し、持続的社会的な社会形成に貢献できる大学を目指します。

やらまいか精神を育てる、  
ものづくり重視の実践  
教育



学生の主体的な学びを推進するために、「モノから入る教育」を実践しています。モノに触れることから始めることで勉学に対する動機を高め、実践で得た知識を系統化していくことで、応用力を備えた「しなやかな専門性」を身につけていきます。この体験や実践を通しての教育が本学の「やらまいか教育」で、産業界や地域社会と連携したプログラムも取り入れています。NHKロボコン、学生フォーミュラ大会、鳥人間コンテストなどでの学生の活躍はこの教育の成果です。

学生の特徴に応じた「き  
め細かな教育」を実施



学生一人ひとりが理解を深められるように、きめ細かな教育を実施しています。導入的な講義、重要な講義は、できる限り少人数で行っています。また一部の講義では、理解度に応じた習熟度別授業を行っています。その他、大学での学修の基礎を養うリメディアル教育や教育開発センターでの個別指導、助言教員制度など、学生の能力を引き出す面倒見の良い教育を行っています。

## 地域交流



地域貢献活動(生涯学習・リカレント教育)として、地域住民を対象とした講座・シンポジウムの開催や講義科目の聴講開放などの取り組みを行っています。また、地元自治体からの要請を受け、「小・中学校理科講座」を開催し、理科(理工系分野)が好きな児童・生徒を育てるための取り組みにも参加しています。「創造・発見」の授業では、ボランティア活動や地元小学校における教育アシスタント活動を実施テーマとして設定するなど、地域社会との多様な交流を進めています。  
(写真:市内小学校理科講座)



理工系大学が果たす地域貢献活動として、地域社会における技術支援・技術開発にも積極的に取り組んでいます。産学官連携フォーラムや情報交換会の開催を通して、地域企業への技術開発支援やこれからの技術動向の紹介などを行っています。  
また、本学教員が代表幹事等を務め、地域企業の皆さんに参加いただいている「先端精密技術研究会」「モータドライブ応用研究会」「アグリニクス研究会」などの各研究会による研究開発の推進及び新技術に関する啓蒙活動を進めています。  
(写真:産学官連携フォーラム)

## 産学官連携



本学教員の研究成果や地域企業との共同研究開発成果などを基に、「平成22年度文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」へ申請を行い、採択されました。これにより「省資源型の地域産業創成を目指した微量元素分析・マッピング技術の開発と応用」をテーマとした研究開発を加速させるための環境整備として、先端機器分析センターを開設しました。現在、3分野の研究について、地域企業を交えた共同研究開発を推進しています。  
(写真:先端機器分析センター 平成23年3月竣工)

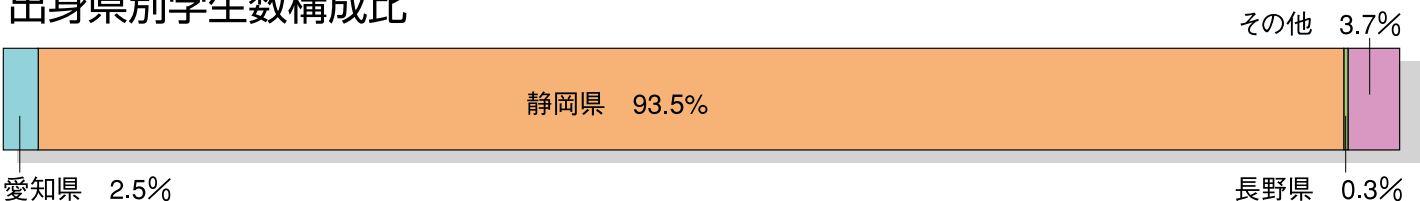


産学官連携活動のコンセプトは、「地域企業等の多様なニーズを本学の教育活動に反映させ、地域一体による新しい価値の創出」にあります。地域企業とともに行政も参画した協議会や検討会への参加、また地元商工会議所の会員として、特に中堅企業との交流、連携を図る取り組みを進めています。外部機関が開催する各イベントに積極的に参加を行い、本学教員の研究内容を広報することにより、地域企業と多様な接点を見出すための取り組みにも力を入れています。  
(写真:商工会議所会員企業との交流会)

## 学部別学生数構成比



## 出身県別学生数構成比



- 住所 〒437-8555 静岡県袋井市豊沢2200-2
- TEL/FAX 0538-45-0111(代) / 0538-45-0110
- URL <http://www.sist.ac.jp/>
- E-mail [soumu@ob.sist.ac.jp](mailto:soumu@ob.sist.ac.jp)







保健医療福祉の総合大学

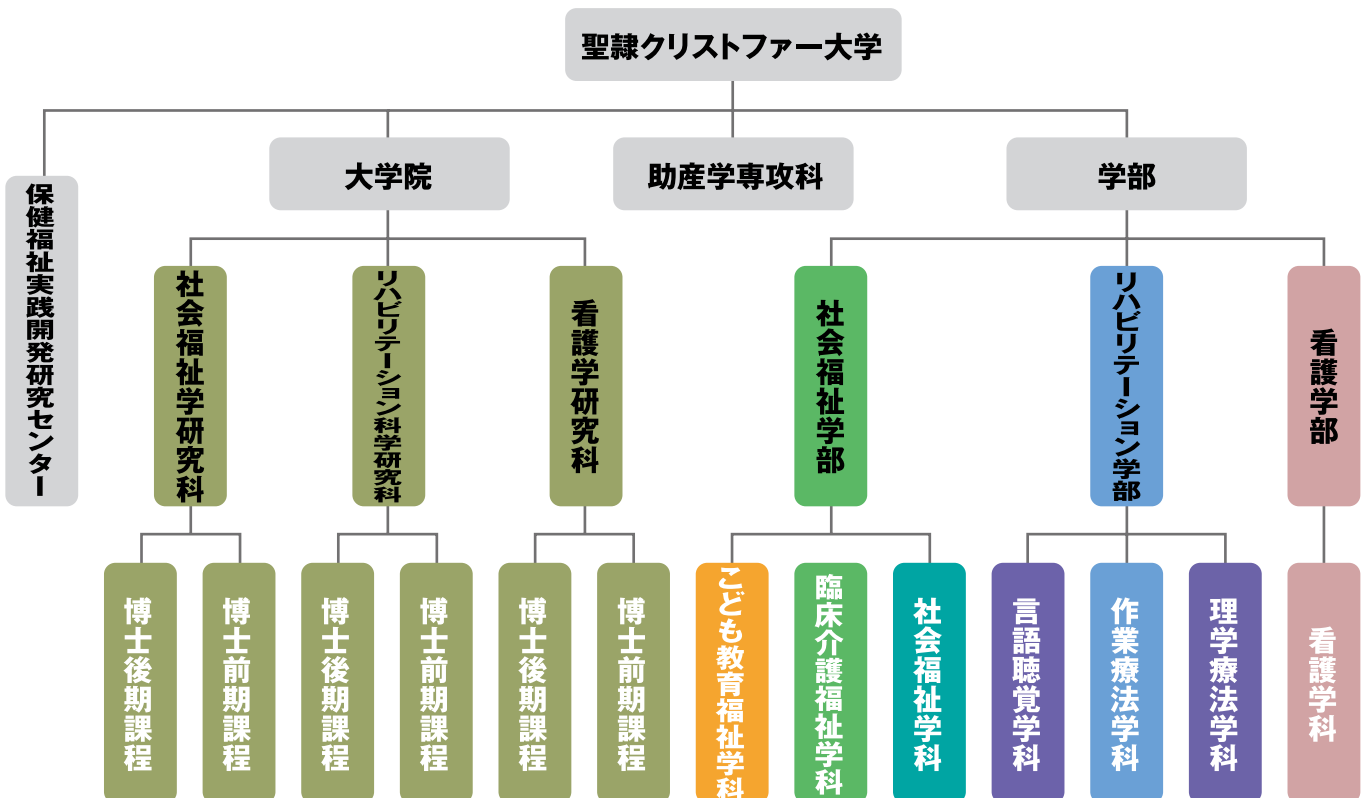
# 聖隷クリストファー大学

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453 TEL053-439-1400

自分のようにあなたの隣人を愛しなさい



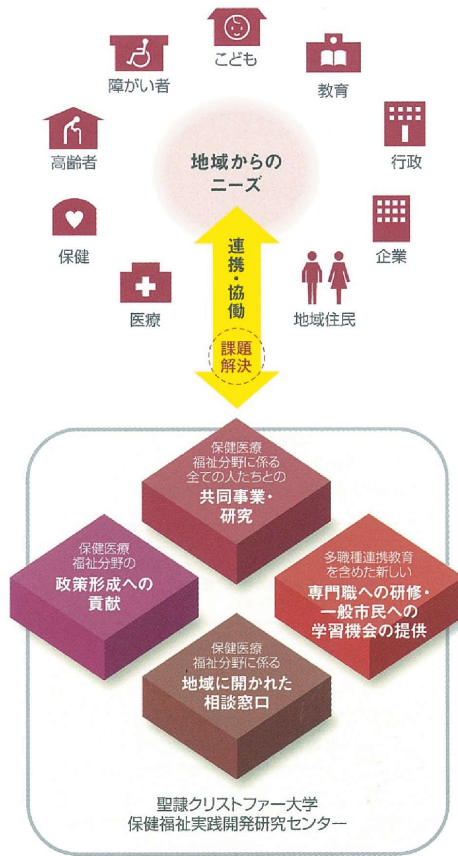
聖隷クリストファー大学は、建学の精神であるキリスト教精神による「生命の尊厳と隣人愛」に基づいて、人々の期待に応えうる看護、リハビリテーションおよび福祉分野の専門職業人の育成をめざしています。





本学における地域との連携・協働は、保健福祉実践開発研究センターが担っています。  
<http://blg.seirei.ac.jp/healthscience/>

主な事業



事業① 共同事業・研究

保健医療福祉の実践現場や行政、企業等と、本学教員および学生、大学院生、卒業生・修了生とが共同で課題解決をはかるための取り組みとして、共同事業や共同研究を行います。  
 ●地域貢献を重視した共同研究事業計画に対し地域貢献研究事業費を配分し、その成果を地域へ還元します。

事業② 専門職への研修・一般市民への学習機会の提供

地域の保健医療福祉の更なる質の向上のため、専門職向けの公開セミナーや、一般市民向けの市民公開講座を実施します。  
 ●本学教育の特色である「IPW(インタープロフェッショナルワーク:専門職連携)」[「リーダーシップ」]を中心テーマとした公開セミナーを実施します。  
 ●社会情勢や地域住民のニーズに即したテーマで市民公開講座を開催し、地域住民が自ら課題を解決する力を身に付けるための学習機会を提供します。

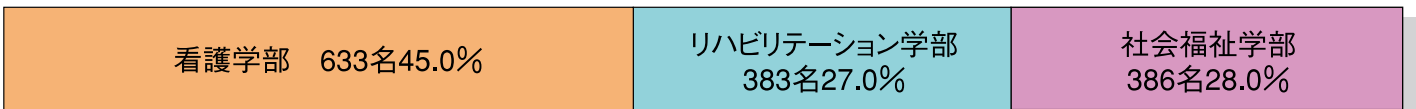
事業③ 政策形成への貢献

地域の自治体や専門分野に関わる協会・協議会等の団体における委員等を積極的に務め、保健医療福祉の質の向上につながる政策形成に参画します。

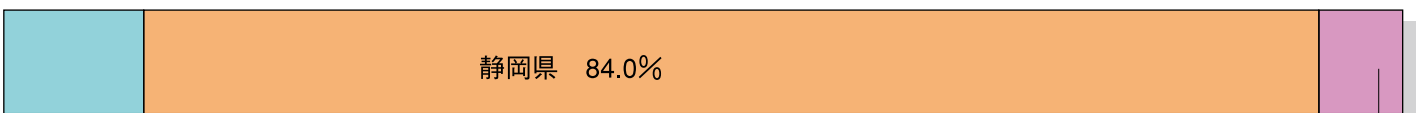
事業④ 地域に開かれた相談窓口

地域住民や各種専門機関が抱える保健医療福祉に関わる課題を共に担い、相談、解決するための窓口として活動します。

学部別学生数構成比 (学部生合計:1402名 ※2011年5月1日現在)



出身県別学生数構成比 (2011年度入学者)



愛知県 10.0%

長野県 0.0%  
 その他 6.0%

- 住所 〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町3453
- TEL/FAX 053-439-1400 / 053-439-1406
- URL <http://www.seirei.ac.jp/>
- E-mail [somu-office@seirei.ac.jp](mailto:somu-office@seirei.ac.jp)





# 国立大学法人 浜松医科大学

〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1-20-1 TEL053-435-2111(代)

## やらまいか精神で 浜松から独創的な医学の世界に挑みます



昭和49年（1974年）に静岡県内唯一の国立医科大学として設立、平成16年4月に法人化され、国立大学法人浜松医科大学に改称しました。

法人化後7年経ちましたが、この間に法人化による長所を生かし、教育、研究、診療のすべての面において環境は大きく変革されました。

しかし、建学の理念は変わりなく、「優れた臨床医と独創力に富む研究者を養成し、独創的研究並びに新しい医療技術の開発を推進し、患者第一主義の診療を実践して地域医療の中核的役割を果たし、以て人類の健康と福祉に貢献する」ことを目標としています。

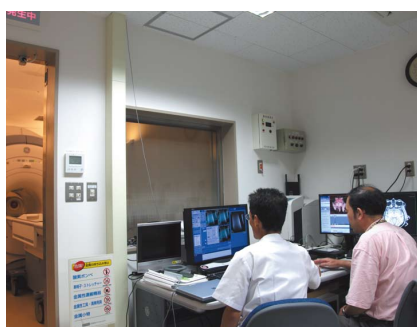
地域社会に貢献できる  
医師・看護専門職の養成、  
世界に発信できる研究  
者の育成



医学科と看護学科を有する単科医科大学で、卒業生は、行政職、大学教授、研究所の研究員、病院の医師、看護師など医療の広い分野で活躍しています。

大学院医学系研究科には、さらに専門知識を高めるため、博士課程（医学）と修士課程（看護学）を設けています。平成20年には、深刻な助産師不足に対応して、助産学専攻科を開設しました。

光医学を中心とした独  
創的研究と新しい医療  
技術の開発



企業と共同研究や交流を深め、光医学の基礎的、臨床的研究分野に力を注いでいる点が本学の特徴です。

光の分野でマイクロからマクロの領域まで、病態の診断研究、薬物動態などの研究、創薬等を目指すとともに最新の研究成果を世界に発信しています。

地域医療の中核病院と  
しての高度な医療の  
提供



浜松市周辺の地域医療に貢献すべく開放型共同診療を行う、地域に根ざした病院です。また、特定機能病院であり、最後の砦的な病院を目指し、高度な医療のできる診断・治療医療機器および技術、人材を備えています。

臨床研修病院として地域の中核的役割を担い、地域に定着する医師を目指しています。

## 地域交流



### 浜松医科大学公開講座

本公開講座は「本学における教育・研究の成果を広く社会に公開し、開かれた大学として地域の皆様との率直な意見交換の場を設ける、併せて正しい保健衛生思想の普及と地域文化の発展に寄与する」ことを趣旨として、昭和54年から毎年開催しています。

平成23年度(第33回)は「脳を活かして健やかに生きる」をテーマとして、150名以上が受講されました。

また、静岡県医師会、薬剤師会、看護協会及び静岡県内の各地域の医師会が主催した生涯学習講演会等での講演、医療相談会や市民・小中高生に対する各種講座を開催し、地域社会に対するさまざまな交流・支援事業を行っています。

(写真上:第33回公開講座)

(写真下:小学生対象講演会「視覚障害者の接し方」)



## 産学官連携



PET-CT棟

### 産学官共同研究センター

三遠南信地域内で医学部附属病院を擁する唯一の医科大学として、以前から企業や大学等との産学官連携を進めてきました。

平成21年度に産学官7団体で共同提案した「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」がJST地域産学官共同研究拠点整備事業に採択され、その中核機関として、地域の医工連携の“ワインストップ窓口”として機能する『産学官共同研究センター』を平成23年4月に大学敷地内に新設しました。このセンターを中心に地域のものづくり力と、医療ニーズ・医学シーズとの異分野融合による健康医療関連産業の事業化を推進しています。

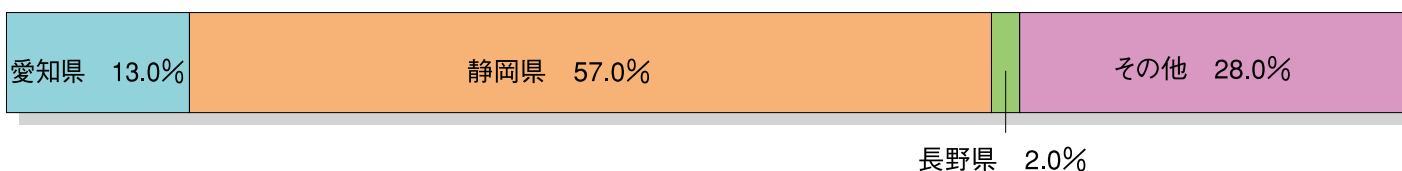


サイクロトロン棟

### 学部別学生数構成比



### 出身県別学生数構成比



- 住所 〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山1-20-1
- TEL/FAX 053-435-2111(代) / 053-435-2112
- URL <http://www.hama-med.ac.jp/>
- E-mail [sss@hama-med.ac.jp](mailto:sss@hama-med.ac.jp)



# HGU 浜松学院大学・浜松学院大学短期大学部

(大学) 〒432-8012 静岡県浜松市中区布橋3-2-3 TEL053-450-7000  
(短大) 〒430-0906 静岡県浜松市中区住吉2-3-1 TEL053-473-6100

## 一人ひとりの顔が見える大学



浜松学院大学の母体たる学校法人興誠学園は、昭和8年、財団法人興誠商業学校として誕生し、「誠の精神」のもと、地域社会、国際社会に貢献できる人材の育成に努めてきました。この伝統を受け継ぎ、浜松学院大学現代コミュニケーション学部は、人と人、人と組織とのコミュニケーションを学ぶことで総合的な人間能力を養い、専門的知識と技能を身につけた教養ある人材の育成を目指しています。また、浜松学院大学短期大学部幼児教育科は、未来を担う子どもたちを育てる豊かな人間性をもち、幼児教育や保育・福祉に関する確かな理論と実践力を身につけた、思いやりの心豊かな行動力あふれる幼稚園教諭や保育士の養成を目指しています。

本学は、規模の小さな大学ならではの、一人ひとりの学生に細やかな目配りのできる、アットホームな雰囲気に満ちた大学です。



### ◇現代コミュニケーション学部 地域共創学科

地域社会における「共創」という課題について、コミュニケーションを基礎にして教育・研究し、地域のなかで実質的な役割を遂行できる人材を養成します。「共創」とは、場を共有する人々が共に地域の課題などを創造的に解決していくものです。地域共創学科は、このような共創的コミュニケーションを深く理解し、地域社会の要請に応える力量と知識・ノウハウをもつ人材を養成します。



### ◇現代コミュニケーション学部 子どもコミュニケーション学科

幼児教育・保育に関わる分野と、新たに小学校教育に関わる分野を含めた「子ども教育」を中心に、さまざまな関連領域について学べるよう、二つの専攻「幼児教育・保育専攻」と「初等教育専攻」が設置されています。子どもや保護者、さらに子育てに関わる地域の人々とのコミュニケーションを円滑にできる教育者、保育者を養成します。



### ◇短期大学部 幼児教育科

昭和46年に幼稚園教員養成所を開設以来45年、地域社会に数多くの幼児教育・保育の専門家を送り出してきました。これまでの良き伝統を継承発展させ、新しい時代にふさわしい教育内容により、幼児教育や保育・福祉の実践的プロとして、理論に裏打ちされた実践力を身につけ、何事にも挑戦していく強い意志を持った幼稚園教諭や保育士を養成します。

## 地域交流



「地域共創学科」では、浜松地域特有の課題を素材としながら、フィールドワークや課題解決のためのさまざまな活動に取り組む科目を多数設置し、将来地域を担う人材に求められる実践的な知識と能力の習得を目指しています。一つのゼミナールが行っている「スマイルスポーツクラブ」は、学生たちが地域の子どもたちにスポーツの楽しさを体験的に教えたり合宿を行ったりしています。また、「幼児教育科」では、毎年秋に、地域の子どもたちをキャンパスに招いて「子どもフェスティバル」を開催しています。各ゼミナールが子どもたちに楽しんでもらうとアイデアを出し合いながら、人形劇や絵本の読み聞かせ、遊具コーナーなど趣向を凝らした企画で子どもたちとにぎやかに交流します。手作り感あふれるハートフルな演出は地域のみなさんに大好評です。



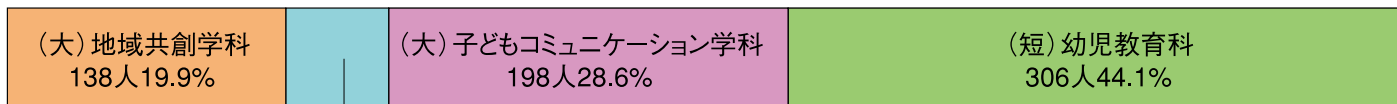
## 産学官連携



「地域共創学科」では将来地域を担う人材に求められる実践的な知識と能力の習得を目指しています。そして、こうした教育を全学的に遂行していくための組織として「地域共創センター」を設立し、地域が直面している課題についての情報を収集し、現場や現実と学生とをつなぐパイプ役となっています。これまで行ってきた事業としては、文部科学省「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」の委託事業として「日本語教員養成プログラム」「外国人支援リーダー養成プログラム」の開講、浜松市から委託を受け、浜松の未来を育てる会との協働事業として「子育て支援広場（通称:ここみ広場）」の開催、そのほか産業界、NPOからパネリストを招いてシンポジウムを開催するなどの事業を展開しています。

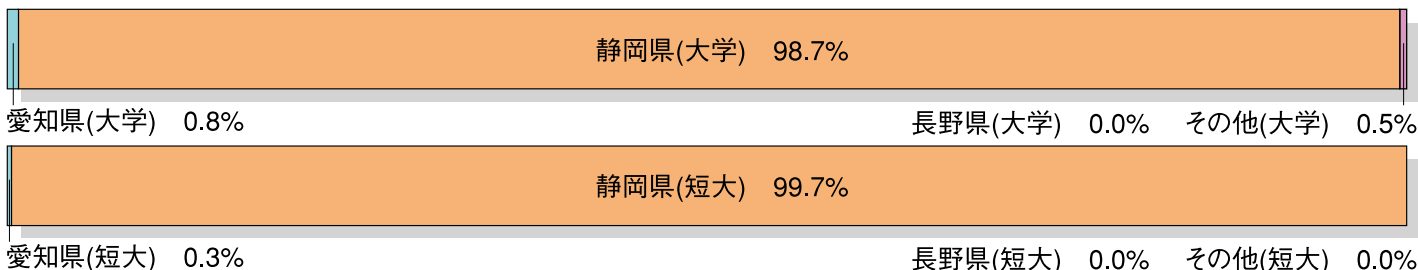


## 学部別学生数構成比



(大) 現代コミュニケーション学科 51人7.4%

## 出身県別学生数構成比



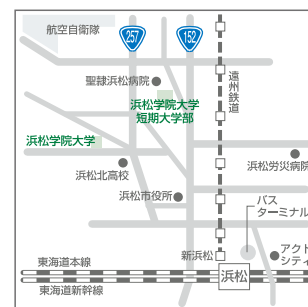
### 浜松学院大学

- 住所 〒432-8012 静岡県浜松市中区布橋3-2-3
- TEL/FAX 053-450-7000 / 053-450-7110

### 浜松学院大学短期大学部

- 住所 〒430-0906 静岡県浜松市中区住吉2-3-1
- TEL/FAX 053-473-6100 / 053-473-6196

- URL <http://www.hgu.ac.jp/>
- E-mail [toiawase@hgu.ac.jp](mailto:toiawase@hgu.ac.jp)



## 「ビジネス・健康・栄養・子育て・スポーツ・医療」 幅広く地域に貢献できる人材を育成します。



浜松大学は、地域に開かれた大学として、また地域の「知」の拠点として教育、研究はもとより、文化、スポーツ、ボランティア活動などさまざまな取り組みを行っております。

「ビジネスデザイン学部」では、体系的、実践的、体験的に専門分野を学び、「モノ」から「コト」へ、人との関係を重視した経営学を身につけます。

「健康プロデュース学部」では、静岡県西部初の管理栄養士を養成する「健康栄養学科」、幼稚園教諭一種と保育士の資格に加え、これからはますますニーズが高まる養護教諭一種の免許状が取得可能な「こども健康学科」、アスレティックトレーナーなどのスポーツトレーナー、保健体育教諭(中学・高校)などをめざす「心身マネジメント学科」、健康維持・増進を通して地域に貢献できる現代の鍼灸師、柔道整復師を育成する「健康鍼灸学科」

「柔道整復学科」の5学科で多様化する健康に対する的確なアドバイスができる人材を育成します。

「保健医療学部」は知識と技術に優れ、温かさや優しさのある人間性豊かな理学療法士、作業療法士を育成し、地域社会で活躍する人材を育成します。学園の附属機関である常葉リハビリテーション病院を実習病院として、1年次より充実した臨床実習を行っています。

**就職に強い!浜大独自の  
就職担任制導入で入学  
時からきめ細かい指導  
を実施**



本学では、企業研修やインターンシップなどに積極的に参加することを支援。人との交流によって学ぶ意識を感じてもらうことで、実社会で活躍できる人材を育成しています。また、多様な職種に応じた就職能力を向上させる講座を開講し、社会に巣立っていくための実践的な教育を行っています。入学時から4年次まで、継続的に指導できる体制を整え、各指導教員と連動・連携し、学生一人ひとりに対してきめ細かなサポートを実施。計画的な就職活動とライフデザインを支援しています。

**スポーツ・研究分野において、  
県内有数の最新&  
充実の施設・設備を完備**



本学のキャンパスには、1,200名収容できるトコハホールや、随時インターネットを利用できる情報教育センターがあります。また、各学科の実習室は、医療・栄養にかかわる最新機器がそろっています。トコハアリーナにはアスレティックトレーナー養成のための実習施設、バスケットボールの公式戦ができるアリーナ、筋力強化のためのトレーニング施設もあります。トレーニング施設は授業はもちろんクラブ生や一般学生にも開放しています。

**社会貢献・ボランティアセンター、  
HUVOC開設で  
広がるボランティアの輪**



本学ではイベント会場での工作教室、読み聞かせ、運動部での食事指導、スポーツ大会でのトレーナー活動など各学科の特色を生かしたボランティア活動が活発に行われています。2010年10月、社会貢献・ボランティアセンター、HUVOC開設後は、学生の間にはボランティアの意識が高まり、東日本大震災後には、のべ140名の学生が浜松駅周辺で募金活動を行いました。また、多くの学生が被災地でのボランティア活動に参加しました。2011年6月には静岡県細江警察署と防犯に係る連携について協定を結び、地域防犯のための活動もしています。

## 地域交流

### 地域のこどもたちを招いて学生が企画・運営する「こどもむら」



こどもむらは、健康プロデュース学部こども健康学科の学生が企画・運営する、子ども達のための遊びの王国です。地域の子育て中の親子や園児を招き、生き物、花、石、砂、泥、水、祭りなど身近なものや季節を生かしたさまざまなテーマで遊び場を提供し、遊びを通じてともに学んでいます。2010年度は地元建設会社の方の協力を得て、親子で一緒にツリーハウスを作りました。

### 地域で障害をもつ人々とスポーツを楽しみながら学ぶ、スポーツ大会開催



本学では障害者のスポーツ大会を実施しています。これは保健医療学部の学生が中心となって行っているイベントで、地域の障害をもつ人々を招き、スポーツを通して交流を深めると同時に学生の学びの場となっています。電動車いすを使ったサッカー、ボッチャ、フライングディスク、バルバレー、ゲートディスクなど、様々な競技を楽しみます。学生は障害をもつ方と一緒に競技に参加すると同時に、参加者の安全にも務めています。

### 浜松モザイカルチャー世界博で学生スタッフ受け入れ



浜松市と浜松モザイカルチャー世界博2009協会が主催する「浜松モザイカルチャー世界博2009（浜名湖立体花博）」で、本学の学生が事務局スタッフとして活動しました。協会側は幅広い層でこのイベントを盛り上げていくため学生らしい斬新なアイデアや創造力を発揮できる体制を整えたいと学生を受け入れました。期間中、学生はチラシやポスター制作、ホームページ管理など広報宣伝業務に携わりました。その他、このイベントのイメージキャラクター「モザイ」が登場する童話を募集し優秀作品を集めた童話集を出版したり、また、土に戻る素材の風船を使ったバルーンアートで「エコ」を啓蒙するイベントを企画しました。イベントを通じて環境や人間同士のつながりの大切さを訴えました。

### 野生鳥獣、有効活用。ジビエ料理普及のための試食会

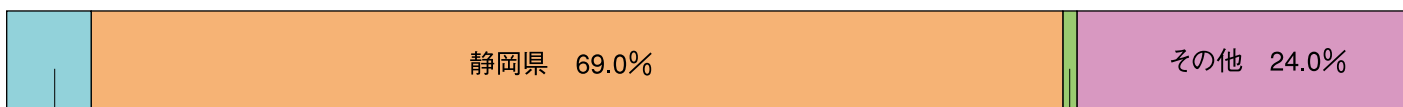


深刻化する野生鳥獣被害の対策に役立てようと、本学健康プロデュース学部健康栄養学科学生が新しい鹿肉料理の開発、試食会を開催しました。この試食会には、学生や教員のほか、市や農協の職員も参加。真空調理法を使ったマーマレード煮やお茶で煮込んだ角煮、ピロシキなどが振る舞われました。指導した川上先生は「シカ肉の調理法を広め、有効利用したい。野生のシカは飼育しているものではないのでコストはかからない。また、地産地消にもつながる。」と話しました。シカ肉は低脂肪で鉄分が豊富。鉄分不足で悩むスポーツ選手や妊産婦の食事指導にも活用できます。今後、他方面での広がりが期待されます。

### 学部別学生数構成比



### 出身県別学生数構成比



愛知県 6.0%

長野県 1.0%

- 住所 〒431-2101 静岡県浜松市北区都田町1230
- TEL/FAX 053-428-3511(代) / 053-428-2900
- URL <http://www.hamamatsu-u.ac.jp>
- E-mail nyushi@hamamatsu-u.ac.jp





## “光”で新産業を！



光産業創成大学院大学は、平成16年に文部科学省より設置認可を受けた博士後期課程の大学院大学です。光技術のリーディングカンパニーである浜松ホトニクス株式会社を中心となって産業界などの支援を受けて設立され、社会が求めるニーズと先進的な光科学技術のシーズを融合させ、起業実践をとおして新産業を創成しうる人材を育成しています。

学生は入学後に科学技術および経営に関する科目を履修します。5つの研究技術分野(光医療・健康分野、光バイオ分野、光加工・プロセス分野、光エネルギー分野、光情報・システム分野)と経営系の統合エンジニアリング分野に属しながら、研究・技術開発及び起業実践の指

導を受け、入学時のビジネスプランを具体的に実践しながら3年間の課程を経て「博士(光産業創成)」の学位を取得します。経営系教員は研究分野を横断して学生の会社設立から起業実践まで経営に関するサポートをしています。

現在、本学には、自ら持つ光技術を活かしてベンチャー企業を起こそうとするアントレプレナー精神あふれる方、企業のコア技術を活かし本学の持つシーズと融合させ新事業を開発する使命を帯びた方、また企業の後継者育成のために派遣されて来る方など様々な人材が集まっています。

### 「全国第3位」

大学発ベンチャー新設数

順位	大学	ベンチャー 設立数(件)
1	東京大学	7
2	九州大学	6
<b>3</b>	<b>本学</b>	<b>5</b>
3	筑波大学	5

平成23年10月1日現在、本学の在学生、同窓生、教員が設立した企業数は26社です。

※文部科学省調べ(科学技術政策研究所)「平成20年度大学等におけるベンチャーの設立状況と産学連携・ベンチャー活動に関する調査」「全国第2位」

民間企業との共同研究実績(1件あたりの受入額)

順位 大学 共同研究額

### 「全国第2位」

民間企業との共同研究実績(1件あたりの受入額)

順位	大学	共同研究額 /件(千円)
1	北里大学	6,798
<b>2</b>	<b>本学</b>	<b>4,963</b>
3	慶應義塾大学	4,935
4	京都大学	3,997
5	東京大学	3,643

本学教員が持つ「光」に関するシーズを活かし、企業との共同研究や受託研究による利用が増えています。

※文部科学省調べ(科学技術・学術審議会 技術・研究基盤部会 産学官連携推進委員会)「平成21年度大学等における産学連携等実施状況について」

## 地域交流



### 「公開講座」

“光”が社会に貢献できる可能性について、広く市民の皆様にご紹介を目的に、開学以来毎年開講しています。



### 「子供向け科学体験講座」

平成20年度より湖西市少年少女発明クラブに所属する子供たちを対象に科学教室を毎年1回行っています。

## 産学官連携



### 「レーザーによるものづくり中核人材育成講座」

製造業で働く中堅技術者の方などを対象に、レーザー加工の導入・実用化を推進できる人材を育成することを目的に開講しています。

### 「光・電子技術イノベーション創出拠点」

事業8提案機関の1機関として参画。

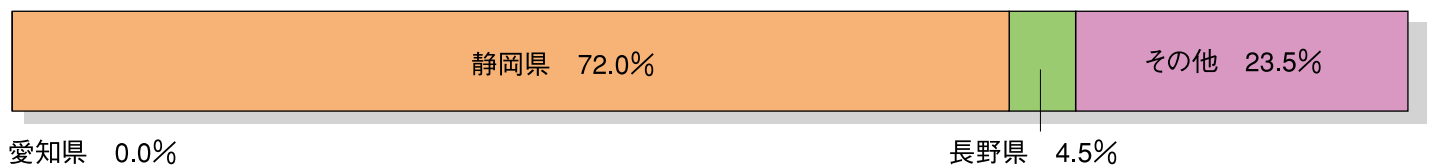
### 「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」

事業7提案機関の1機関として参画。

## 学部別学生数構成比

光産業創成研究科 21人(平成23年10月1日現在) 100.0%

## 出身県別学生数構成比



## アクセス

- お車をご利用の場合 JR浜松駅より約15km(約45分)、東名浜松西ICより約8km(約15分)
- 公共交通機関等をご利用の場合
  - ・JR浜松駅バスターミナル1番乗り場より、30館山寺温泉行き(約45分)「鳥居先」下車、スクールバスにて約5分
  - ・JR浜松駅バスターミナル1番乗り場より、30館山寺温泉行き(約50分)「館山寺温泉」下車、タクシーにて約5分

- 住所 〒431-1202 静岡県浜松市西区呉松町1955-1
- TEL/FAX 053-484-2501 / 053-487-3012
- URL <http://www.gpi.ac.jp/>
- E-mail [info@gpi.ac.jp](mailto:info@gpi.ac.jp)

